調査報告

我が国の農林業害虫クロバネキノコバエ類の分類と生態

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 生物多様性研究拠点 末吉昌宏

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 環境情報基盤研究領域・東京農業大学農学部農学科 吉松慎一

はじめに

クロバネキノコバエ類はハエ目クロバネキノコバエ科に属する昆虫の一群である。成虫は体長1～6 mm程度で一般に体色が褐色から黒色であり（Menzel and Mohrig, 1997），カのような昆虫である（図-1）。幼虫は，胴部が白色で，頭部が黒色のウジである。旧北区でおよそ1,000種弱，日本から113種が知られるが（Menzel and Mohrig, 1997；笹川，2014），いまだ記録されていない種や新種も多く，国内には1,130～2,260種が分布すると推測されている（中村，2016）。チバクロバネキノコバエ（以下単にチバ）や*B. ocellaris*（Comstock, 1882）は輸出入された農産物やそれらに付着した腐葉土等によって人為的に運ばれ，汎世界的に分布するとされる（Menzel et al., 2003）。国内ではチバを含む8種（表-1）が農林業害虫

図-1 チバクロバネキノコバエ*Bradysia impatiens* ♂成虫（体長1.1 mm）
*Bradysia*の種分類でよく使われる各部とそれらの形態学用語を示した。

植物防疫

表-1 国内のクロバネキノコバエ科農林業害虫の学名と和名

有効名	無効名	提唱された和名[a)]
Bradysia impatiens（Johannsen, 1912）		チバ
	Bradysia difformis Frey, 1948	チバ
	Bradysia agrestis Sasakawa, 1978	チビ
Bradysia odoriphaga Yang & Zhang 1985		ネギネ
Bradysia paupera Tuomikowski, 1960		シイタケ
Bradysia zingiberis（Sasakawa, 1985）		ショウガ
Chetosciara takahashii Sasakawa, 1992		ハチジョウ
Lycoriella auripila（Winnertz, 1867）		
Lycoriella ingenua（Dufour, 1839）		ツクリタケ
	Lycoriella mali Fitch, 1856	ツクリタケ
	Psilosciara flammulinae Sasakawa, 1983	ヒトトゲ
Pnyxia scabiei（Hopkins, 1895）		ジャガイモ

注）学名をアルファベット順に配列した。
a) 和名末尾の「クロバネキノコバエ」を省略した。

Taxonomy and Biology of Black-Winged Fungus Gnats as Agri- and Silvicultural Pest Species in Japan. By Masahiro Sueyoshi and Shin-ichi Yoshimatsu

（キーワード：特用林産，食用きのこ，野菜，地理的分布，防除，ハエ目，ネギネクロバネキノコバエ，チバクロバネキノコバエ）